

☆ EVENT セミナー ☆

第4回 関西若手物性研究会

さまざまスケールから見る物性 ~ソフトマターからストリングまで~

日時: 2015年10月17日(土) 12:55~18:00 場所: 理学研究科物理学専攻 H棟 H701

講師をお招きしてセミナーを開催しました

13:00~13:50

竹内一将 (東工大) 「様々なスケールで現れる界面ゆらぎの普遍法則」

14:00~14:50

大塚朋廣 (理研) 「半導体量子ドットを用いたスピンキュービット実験」

15:00~15:50

谷口正輝 (阪大産研) 「1分子接合における輸送特性」

16:20~17:10

段下一平 (京大基研) 「光格子中の強相関超流動 Bose 気体・Higgs 束縛状態と重い孤立波」

17:20~18:10

中村真 (中央大) 「ゲージ・重力対応で探る非平衡定常系の物理学」



竹内氏の講演風景



学部4年生からの質問に答える大塚氏

<主催した学生から>

第4回関西若手物性研究会では、「さまざまなスケールから見る物性」というテーマにおいて、幅広い分野(ソフトマター、メゾスコピック系、分子エレクトロニクス、冷却原子、超弦理論)から講演が行われました。講演者の方には基本的なところからお話をさせていただいたので、研究室に入ったばかりの学部4年生にとっても参加しやすい研究会となりました。

研究会の参加者は57人で、そのうち阪大以外の方(京都大や神戸大)が13名参加しました。また、すべての講演において質疑応答による議論が活発に行われました。このように研究会が盛況に終わったことを、主催者の一人として嬉しく思っています。

(理学研究科 小林研究室 D1 秦徳郎)